

にこにこ通信 11月号

「イヤイヤ期について」

1歳半～2歳頃にかけて成長とともにいろいろなことが少しずつできるようになります。同時に「自我」も芽生えて、自分の気持ちを動作や言葉で表現できるようになる中で、うまく伝えることが出来ないことや、できると思ったことができなくて「イヤ」という言葉が増えてきます。

イヤイヤ期とも言われますが、この時期を通して気持ちを切り替えることや、人との関わり方・自立心が育っていきます。時には親を困らせてしまうこともあるかもしれませんが大切な成長過程なので、子どもの挑戦する気持ちをできる限り尊重してあげたいですね。

イヤイヤ期と向き合うポイントをいくつか紹介します。

◎子どもはうまく言葉にできないことに葛藤を感じる場合があります。大人が「〇〇したかったのね」と一度受け止め、言葉にしてあげましょう。

◎「〇〇したら帰るからね」「あと〇回したら終わりにしようね」と子どもに事前に予定を知らせ、見通しを持つことが出来るように伝えましょう。

◎子どもが決定できるように大人が「〇〇と〇〇どっちにする？」と選択肢を提示してみましょう。

いろいろな経験を重ねていくことで次第に気持ちの切り替えが上手くできるようになってきます。子どもの成長過程をおおらかに見守りましょう。大人はできるだけ時間に余裕をもって子どもが自分でできた喜びを重ねていけるといいですね。

子育ての中でイライラが溜まったり、不安に感じたりした際には子育てコーディネーターにぜひ、相談してください。

子育て支援課 子育て応援係
電話 092-919-6001